

=私たちの活動 4つの柱=  
 \*制度化と指導員の身分保障  
 \*専門性と仕事の確立  
 \*父母と共に学童保育運動の発展  
 \*全国の指導員との団結と連帯

建交労全国学童保育部会

## ニュース学童保育

2017. 3. 4.  
 NO. 11  
 全日本建設交運一般労働組合  
 全国学童保育部会 発行  
 編集：事務局

# 函館分会、市と予算交渉

## 処遇改善の満額支給、訴える

29年度予算  
 処遇改善費変わら  
 ず

2月20日(月)函  
 館市未来部長懇談が開  
 かれました。

平成29年度予算が  
 発表されましたがほ  
 ぼ現状維持か国の予算と  
 同じになっています。  
 訴え続けている処遇  
 改善費の満額支給と常  
 勤職員配置の改善補助

です。

しかし、それらの要  
 求はかなわず、1支援  
 の単位76万2千円と  
 現状維持になりました。

平等の名のもとに、  
 18時30分を超えて  
 いないクラブにも支給  
 され、市が単独で出し  
 ていると説明してきて  
 いますが、人件費と労  
 働時間は平等ではない  
 と訴えてきました。

国の概算要求案で出

されている新規と拡充  
 の事業は、十分に精査  
 し必要か検討したい”  
 にとどまってしまいま  
 した。

補正予算での獲得に  
 向け、しっかりと訴え  
 ていきます。

### クラブ数だけ 増え続け…

各クラブからの現状  
 報告もされましたが、

### 第24回 全国学童保育研究会 約100人の参加

2月11～12日、全国学童保育研究会が長野  
 市生涯学習センターで開催され、全国各地から  
 約100人の仲間が参加しました。

植木信一先生(新潟県立大学)の記念講演で  
 は、国の基準は、質的な確保を強調しているが、  
 それに見合った量の確保については明らかになっ  
 ていないと指摘。

また、「子育て支援」という子どもを持つ親  
 の視点から、「子ども支援」という子ども自身  
 への支援が示されていることに注目し、子ども  
 を含めた家庭全体の福祉を実現する可能性を大  
 いに持っている、と話されました。



研究会に参加したみなさん

### 17春闘、すべての職場で、 要求書提出を

国の来年度予算(案)で、経験年数  
 に応じた処遇改善事業(キャリアアップ  
 処遇改善)が上がっています。すべ  
 ての指導員が月額1万円以上の賃上げ  
 (5年以上は2万円、10年以上は3万円)  
 ができる内容です。

時代は大きく動いています。

まずは、すべての職場で要求書を提  
 出し、大幅賃上げできる公費を活用す  
 ることを事業所に訴えていきましょう。

発言したクラブのほと  
 んどから指導員不足・  
 専用面積の狭さが報告  
 されていました。

学童保育の事業費が2  
 億3千万円増えたこと  
 が強調され、今の財政  
 の確保が限界との印象  
 を受けました。

市も指導員の業務の  
 多さ・責任の重さ・長  
 く続けることが大事で  
 あることや指導員不足  
 は把握しつつも市全体  
 で人手不足とし、待遇  
 の低さにはふれられま  
 せんでした。

分割とクラス分けが  
 進み、支援の単位がど  
 んどん増え、同じ問題  
 を抱えるクラブもどん  
 どん増える一方です。  
 自分たちの要求をま  
 とめ、組織拡大をして  
 訴える声を大きくしな  
 がら交渉しなければと、  
 焦りを感じつつ前を向  
 きながら進みたいと思っ  
 ています。

子ども・子育て支援  
 法が始まってからの市  
 の

函館分会 渡辺将隆